

「岐阜県発日本一、世界一」調査票

部(局):教育委員会  
 課(室):スポーツ健康課  
 担当者:芝山玲子(内線)3588

【8月分】

その1

大会、競技会名 (主催者名)		成績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在、出身)	大会、競技会の概要(意義)
平成22年度全国高等学校総合体育大会						
自転車競技	4000m団体追い抜き	1位	H22.8.1	岐南工高 [矢野智哉・市原和希 橋本英也・中村隼太]		岐南工高はラストスパートを仕掛けると、一気に後続を離し、2位に1秒以上の差をつけ、2年ぶり16度目の優勝を飾った。 (沖縄県北中城村:沖縄県総合運動公園自転車競技場)
	4000m速度競走	1位	H22.8.1	橋本 英也 (岐南工高2年)		橋本は2位に5秒差となる4分44秒499で見事、初優勝を果たした。 (同上)
	スプリント	2位	H22.8.1	武藤 稔征 (岐阜一高2年)		武藤は敗者復活戦から決勝まではい上がったが、決勝では0-2で敗れ、惜しくも2位となった。 (同上)
	トラック競技学校対抗	1位	H22.8.1	岐南工高		岐南工高は合計28点を獲得し、11年ぶり5度目の優勝を飾った。 (同上)
	学校対抗総合	1位	H22.8.1	岐南工高		岐南工高は合計28点を獲得し、10年ぶり6度目の優勝を飾った。 (同上)
陸上競技	男子やり投	2位	H22.8.1	斎藤 文孝 (益田清風高3年)		斎藤は記録65m48で2位となった。 (沖縄県那覇市:沖縄県総合運動公園陸上競技場)
フェンシング	女子団体	3位	H22.8.1	羽島北高		羽島北高は4回戦まで快勝したが、準決勝では2-5で敗れ、3位となった。 (沖縄県金武町:金武町立体育館)
ホッケー	男子	3位	H22.8.2	岐阜総合学園高		岐阜総合学園高は前半0-2のビハインドから後半同点まで追いつき、延長に入ったが勝負がつかず、PSで敗れ、惜しくも3位となった。 (沖縄県今帰仁村:今帰仁村総合運動公園ホッケー場)
	女子	1位	H22.8.3	岐阜各務野高		岐阜各務野高は決勝戦で延長の末、ライバルの伊吹高を2-1で下し、6年ぶり22度目の王座についた。 (同上)
レスリング	96kg級	3位	H22.8.5	森 祐貴 (岐南工高3年)		森は得意の投げ技で勝ち上がったが、準決勝では相手のタックルに苦しみ、逆転を賭けた投げ技も決まらず、惜しくも敗れ、3位となった。 (沖縄県石垣市:石垣市総合体育館メインアリーナ)
	120kg級	3位	H22.8.5	遠山 貴文 (岐南工高3年)		遠山は準決勝で第1ピリオドの延長クリンチを決められず、相手に流れを奪われると、そのまま第2ピリオドもポイントを取られ、惜しくも3位となった。 (同上)
ウェイトリフティング	53kg級スナッチ	2位	H22.8.8	深谷 崇史 (中津高3年)		深谷はスナッチで自己記録タイで2位、ジャークで自己ベストを更新し3位を獲得し、トータル3位を合わせ、3つのメダルを獲得した。 (沖縄県八重瀬市:八重瀬町具志頭社会体育館)
	53kg級ジャーク	3位				
	53kg級トータル	3位				
新体操	男子種目別クラブ	3位	H22.8.8	臼井 優華 (済美高1年)		臼井はクラブとスティックで、堂々たる演技を披露し、総合得点18.850点をマーク。1年生ながら見事、個人準優勝を果たした。 (沖縄県沖縄市:沖縄市体育館)
	男子種目別ステップ	2位				
	男子個人	2位				
柔道	女子78kg超級	3位	H22.8.12	渡部 紫織 (鶯谷高2年)		渡部は準々決勝まで全て1本勝ちと好調であったが、準決勝では一瞬のすきを突かれ、昨年に次ぐ3位となった。 (沖縄県那覇市:沖縄県立武道館)
水泳	男子200m平泳ぎ	1位	H22.8.13	加納 雅也 (県岐阜商高2年)		加納は200m平泳ぎで2位に1.42秒の大差をつけて初優勝するとともに、続く100m平泳ぎでも自身の出した大会記録に迫る1分1秒72で見事2連覇し、今大会2冠を達成した。 (沖縄県那覇市:奥武山水泳プール)
	男子100m平泳ぎ	1位	H22.8.20			
平成22年度全国中学校ゴルフ選手権大会 女子個人		3位	H22.8.7	小野 祐夢 (泉中1年)		小野は2日間のトータルスコア149で3位となった。 (茨城県笠間市:宍戸ヒルズカントリークラブ)
第18回全国中学生空手道選手権大会 男子団体組手		3位	H22.8.15	美濃北中		美濃北中は準々決勝まで順当に勝ち上がったが、準決勝0-2で敗れ、3位となった。 (宮城県宮城郡:宮城県総合運動公園)
全日本ジュニアテニス選手権2010						
	12歳以下女子シングルス	1位	H22.8.11	佐野 結花 (ASKY・三輪中1年)		佐野は決勝1セットを接戦で制し、続く2セットも落ち着いて取得し、シングルスとして県勢初となる優勝を果たした。 (大阪府大阪市:鞠テニスセンター)
	18歳以下男子ダブルス	1位	H22.8.17	古田 陸人	明郷中出身	古田は決勝でフルセットの末、優勝した。 (同上)

大会、競技会名 (主催者名)		成績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
第45回全国高等専門学校体育大会						
陸上競技	男子800m	1位	H22.8.11	小森 大輝 (岐阜高専4年)		小森は800mを1分55秒73で、続く1500mを4分0秒89でそれぞれ優勝し、見事2冠を達成した。 (富山県富山市:富山県総合運動公園陸上競技場)
	男子1500m	1位	H22.8.12			
	男子走幅跳	3位	H22.8.11	中嶋 隼也 (岐阜高専5年)		中嶋は走幅跳で7m09で3位、三段跳で14m46で2位となった。 (同上)
	男子三段跳	2位	H22.8.12			
柔道	男子団体	1位	H22.8.20	岐阜高専		岐阜高専は決勝で近大高専(三重)を3-2で下し、7年ぶり4度目の優勝を果たした。 (富山県射水市:アルピス小杉総合体育センター)
	男子90kg級	1位	H22.8.20	馬島 孝治 (岐阜高専5年)		馬島は決勝で大外刈りを決め、見事90kg級を制した。 (同上)
	男子60kg級	2位	H22.8.20	北村 翔 (岐阜高専1年)		北村は決勝で背負い投げを決められ、惜しくも2位となった。 (同上)
	男子73kg級	3位	H22.8.20	多田 直人 (岐阜高専5年)		多田は惜しくも準決勝で敗れ、3位となった。 (同上)
	男子90kg超級	2位	H22.8.20	磯川 草磨 (岐阜高専5年)		磯川は決勝で大外刈りを決められ、惜しくも2位となった。 (同上)
平成22年度全国中学校体育大会						
相撲	個人	3位	H22.8.19	長尾 勇氣 (青山中3年)		長尾は3回戦まで順調に勝ち上がったが、準決勝で押し倒しで敗れ、惜しくも3位となった。 (鳥取県鳥取市:コカ・コーラウエストスポーツパーク鳥取県民体育館内特設相撲場)
陸上競技	女子400mリレー	3位	H22.8.23	多治見中 水野繪緒・坂本文香 松原実穂・野村真由		多治見中は49秒37で3位入賞を果たした。 (鳥取県鳥取市:コカ・コーラウエストスポーツパーク陸上競技場)
水泳	学校対抗	2位	H22.8.23	精華中		精華中は400mリレーで3分43秒26を記録し、3位入賞を果たし、学校対抗でも2位となった。 (広島県広島市:広島市総合屋内プール)
	男子400mリレー	3位	H22.8.23			
卓球	女子シングルス	3位	H22.8.25	加藤 知秋 (高富中3年)		加藤は3-0のストレートで準々決勝を勝ち上がったが、準決勝では0-3で敗れ、決勝進出を逃し、3位となった。 (山口県周南市:周南総合スポーツセンター)
2010カヌーワイルドウォータージャパンカップ第4戦 女子カヤックシングル		3位	H22.8.22	畑 良枝 (トヨタカローラ岐阜)		畑は42分20秒75で4位に1分10秒の差をつけ、3位入賞を果たした。 (長野県下伊那郡:高森町天竜川カヌーコース)
文部科学大臣杯 第66回全日本大学対抗選手権自転車競技大会						
	女子チームスプリント	3位	H22.8.27	朝日大		朝日大は2位に2秒及ばず53秒114で3位となった。 (青森県八戸市:八戸自転車競技場)
	男子タンデムスプリント	2位	H22.8.28	尾形鉄馬・松本涼太 (朝日大3年、1年)		尾形・松本は予選を5位で通過し、決勝で2位となった。 (同上)
	女子3000m個人追い抜き	2位	H22.8.28	明珍 裕子 (朝日大3年)		明珍は4分6秒325で2位となった。 (同上)
	女子個人ロードレース(70km)	2位	H22.8.29		明珍は70kmのロードを力走したが、トップには2分以上及ばず、2時間22分48秒で惜しくも2位となった。 (青森県三戸郡:階上町公道周回特設コース)	
	女子大学対抗得点	3位	H22.8.29	朝日大		朝日大はトラック、ロード併せ、トータル22点を獲得し、3位となった。
第55回全国高等学校軟式野球選手権大会		ベスト4	H22.8.29	中京高		中京高は28日にサスペンデッドとなった準決勝を延長16回から再開し、緊張感のある好ゲームを展開したが、延長18回で3安打を許し、惜しくも0-1で敗れ、ベスト4となった。 (兵庫県明石市:明石公園野球場)
文部科学大臣杯 2010年度全日本学生レスリング選手権大会 男子フリースタイル84kg級		1位	H22.8.29	鈴木 聖二 (専修大4年)	岐阜工高高卒	鈴木はトーナメントの第4シードから順調に勝ち上がり、決勝でも3-0と圧勝し、見事、初優勝を飾った。 (大阪府堺市:堺市金岡公園体育館)
第40回全日本実業柔道個人選手権大会 女子78kg超級		1位	H22.8.29	石山 麻弥 (丸順)		石山は延長の末、優勢を取り、見事、優勝した。 (兵庫県尼崎市:尼崎市記念公園総合体育館)